

令和6年度の福祉人材（介護・障がい）の確保・育成について

1 令和5年度からの継続

(1) 次世代育成

① 小学生向け取組

・市内児童センターと連携し、夏休み等で児童センター・クラブ利用児向けに、市内の介護職員から福祉の仕事について説明するとともに、福祉機器を体験する機会を作る。

② 中学生向け取組

・職場体験の対象事業所を募り、各学校で対象事業所リストに追加。

(2) 定着支援

・市内の若手介護職（や福祉を学ぶ学生）を対象に交流会を開催。

(3) 福祉のお仕事・事業所 PR

・わくわくフェスティバルを活用し、福祉のお仕事や事業所の PR をする。

・いきいき広場内に事業所お知らせ掲示板を設置し、事業所の PR をする。

(4) 意見交換会の開催（毎月）

2 令和6年度 of 取組

(1) 関係者による意見交換会の開催（毎月）

(2) 研修会

市内若手職員交流会（7月）

管理者向け生産性向上研修（1月）

(3) イベント

児童センターでの小学生向け福祉魅力発信（7月～8月）

わくわくフェスティバルでのお仕事体験・相談コーナー（11月）

西三河福祉の店での相談コーナー（12月）

福祉機器体験会兼相談会“ふくしのお仕事って何？”（2月）

(4) その他調整

ハローワークへ企画相談（6月）

たかはま就職フェア見学（11月）

ハローワーク刈谷福祉就職フェア見学（11月）

岡崎市ふくふくフェスタ見学（11月）

日本福祉大学へ相談（12月）

3 市内若手職員交流会での意見交換内容

・仕事の悩み・相談

移乗に慣れず腰痛（ギックリ）、リーダーが厳しい、
業務に関する精神的苦痛、人員減少に伴う身体的苦痛

・離職防止するために施設（高浜市）にやってほしいこと

給料を上げて欲しい（基本給）、上司と部下の関わり改善、

事故・ヒヤリハット報告書の書き方統一（簡易的に）、

☆職員全体にかかる業務負担減（ちゃんとした休憩が欲しい）、

グループ全体での仕事の把握

・自分の施設に就職したいと思ってもらうために何をしたら良いか

施設内の環境整備（季節の飾りなど）、行事・祭りなどで人を呼ぶ、

利用者との日常を SNS で投稿、髪色・ネイルなどの許可（おしゃれしたい!!）

服装の自由、介護職に対してイメージアップ、大学の掲示板でアプローチ